

平成29年9月熊野市議会定例会

熊野市長市政報告

平成29年9月4日

平成 29 年 9 月熊野市議会定例会市政報告

おはようございます。本日、平成 29 年 9 月熊野市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆さん方には大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

それでは定例会の開会にあたりまして、これから取り組む、また現在取り組んでいる主な事業の概要や進捗状況など 2 項目について簡単にご報告いたします。

その前に、8 月 17 日に開催いたしました熊野大花火大会につきましては、ぐずついた天気にも関わらず沖合に 4 隻の豪華客船を含め約 12 万人の観客を迎え関係者の皆様のご尽力により、無事終えることができましたことに、心から感謝申し上げます。

それでは、まず 1 点目の地方創生の取り組み状況についてでございます。

平成 27 年 10 月に策定した熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図るため、平成 28 年度は地方創生加速化交付金を、平成 29 年度は地方創生推進交付金を活用した事業を推進し、本市の人口

減少対策を図る取り組みを進めているところでございます。

この地方創生の取り組みのうち、速報値ですが平成 28 年度の出生数が 75 人と減少が続いていることなどから人口増加対策として、平成 28 年度から 5 年間で総額 5 億円の「こどもは宝・未来への希望基金」を設け、県下でも一番と言われるほどの子育て支援策の充実を図っております。平成 28 年度の主な実績では、3 歳児以上保育料無料化に約 5 千 500 万円、小・中学校給食費補助に約 2 千 900 万円、高校生等医療費無料化に約 130 万円など、12 の基金事業の総額は、約 9 千 800 万円に上る子育て支援事業を強力に推進しているところでございます。

人口流出抑制、人口流入増加対策として平成 29 年度からは、新たに 3 億円の「熊野市地方創生雇用創出基金」を設けて雇用の創出に資する企業に対する事業拡大や企業立地を促進する体制を構築いたしました。

また、移住の取り組みに関しましては、庁内にワンストップ窓口を創設し、約 2 年間で 47 の方が熊野市に移住していただきました。

その他、地方創生の取り組みとして、136 の事業を行っており、成果の出ている事業も多くありますが、人口減少についての市町村間

の競争を勝ち抜いていくためには、今後ともこれまでの取り組みの成果と評価を踏まえ、事業の推進方法を改善したり場合によっては、新たな事業に取り組むなど、地方創生の取り組みにこれまで以上に力を入れてまいる所存です。

次に2点目の第2次熊野市総合計画の策定状況についてでございます。

昨年から策定を進めております第2次熊野市総合計画は、各地区のまちづくり協議会の委員の方々から伺った意見や市内1,000人を対象としたまちづくりアンケート、市内の各種団体との意見交換会での意見を踏まえながら策定を進めるとともに、庁内では副市長を委員長とする総合計画策定委員会を設置し、庁内すべての課の調整を図りながら作業を進めております。

また、農業や林業、医療など様々な分野の市民の方15人で組織する熊野市総合計画基本構想審議会により更に幅広い意見を伺いながら策定を進めているところでございます。

そして、8月31日には、この熊野市総合計画基本構想審議会へ第2次熊野市総合計画基本構想（案）に対して諮問を行ったところでございます。

今後は、さらに審議会の意見を踏まえながら基本構想及び基本計画の策定を進め、次回の12月市議会定例会において基本構想に関する議会の議決をお願いしたいと考えております。

以上、主な事業の進捗状況などについてご報告いたしました。

なお、今定例会におきましては、条例案など9件、報告5件、諮問1件、合わせて15の案件を提出いたしております。

よろしく、ご審議を賜りますようお願い申し上げ、開会にあたりましての市政報告とさせていただきます。